

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（第一学習社 高等学校 日本史探究

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】我が国の歴史の展開を、地理的条件や世界史との関連から総合的に理解し、諸資料を用いて情報を適切かつ効果的に調査・整理する技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の事象を時期・推移・比較や現代との関連から多面的に考察し、課題を把握して解決を構想する力と、その内容を効果的に説明し議論する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史を基に課題を主体的に探究し、よりよい社会の実現を目指す態度を養うとともに、多面的な理解を通して国民としての自覚や歴史への愛情、他国と文化を尊重する意識を身に付けている。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 旧石器から縄文・弥生、古墳・律令国家、貴族政治や武士の出現までの流れを基に、原始から古代の政治・社会・文化の特色を理解する。また自然環境や東アジアとの関係を踏まえ、歴史資料の特性を理解し、情報を収集・読み取り整理・表現する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 農耕化や国家形成、社会の変容について、時期・推移、対外関係などに着目し多面的に考察する。事象の意味や関連を踏まえて歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明・表現を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始から古代の歴史に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、歴史の特色や変化を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	<p>第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 第3節 律令国家の変容 第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換</p> <p>・教材 教科書「第一学習社 日本史探究」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 旧石器から縄文・弥生、古墳・律令国家、貴族政治や武士の出現までの流れを基に、原始から古代の政治・社会・文化の特色を理解する。また自然環境や東アジアとの関係を踏まえ、歴史資料の特性を理解し、情報を収集・読み取り整理・表現する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 農耕化や国家形成、社会の変容について、時期・推移、対外関係などに着目し多面的に考察する。事象の意味や関連を踏まえて歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明・表現を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始から古代の歴史に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、歴史の特色や変化を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識・技能】 武家政権の成立・展開と変容、産業の発達、日明貿易や琉球王国の成立、織豊政権の政策などを基に、中世から近世への政治・社会・文化の特色と変化を理解する。また、歴史資料の特性を踏まえ、情報を収集・読み取り、整理・表現する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 公武関係や対外交渉、社会・経済の変化に着目し、中世から近世への国家・社会の展開と変容を多面的に考察する。事象の意味や関連を踏まえ歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世から近世への歴史的展開に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、時代の転換や社会の特色を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	<p>第2章 中世の日本と世界・教材 第2節 鎌倉幕府の展開 第3節 室町幕府の展開 第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換</p> <p>・教材 教科書「第一学習社 日本史探究」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 武家政権の成立・展開と変容、産業の発達、日明貿易や琉球王国の成立、織豊政権の政策などを基に、中世から近世への政治・社会・文化の特色と変化を理解する。また、歴史資料の特性を踏まえ、情報を収集・読み取り、整理・表現する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 公武関係や対外交渉、社会・経済の変化に着目し、中世から近世への国家・社会の展開と変容を多面的に考察する。事象の意味や関連を踏まえ歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世から近世への歴史的展開に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、時代の転換や社会の特色を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識・技能】 幕藩体制の確立と支配秩序、身分制や貿易統制、産業や学問・文化の発展を基に、近世の政治・社会・文化の特色を理解する。また、飢饉や一揆、幕政の動揺などを通して体制の変容と近代化の基盤形成を捉え、資料から情報を収集・読み取り整理する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 織豊政権との比較や国際情勢、社会・経済の変化に着目し、近世の国家・社会の展開と変容を多面的に考察する。事象の意味や関連性を踏まえ歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世の歴史的展開に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を積極的に活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、社会や文化の変化を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	<p>第3章 近世の日本と世界 第2節 幕藩体制の確立 第3節 幕藩体制の展開 第4節 社会の変化と幕府の対応</p> <p>・教材 教科書「第一学習社 日本史探究」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 幕藩体制の確立と支配秩序、身分制や貿易統制、産業や学問・文化の発展を基に、近世の政治・社会・文化の特色を理解する。また、飢饉や一揆、幕政の動揺などを通して体制の変容と近代化の基盤形成を捉え、資料から情報を収集・読み取り整理する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 織豊政権との比較や国際情勢、社会・経済の変化に着目し、近世の国家・社会の展開と変容を多面的に考察する。事象の意味や関連性を踏まえ歴史の画期や解釈を根拠とともに表現し、主題設定や問いの形成、論理的な説明を行う力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世の歴史的展開に関心をもち、課題を主体的に設定して探究しようとする態度を養う。諸資料を積極的に活用して情報を収集・検討し、仮説を立てて検証しながら課題解決に取り組み、社会や文化の変化を捉えようとする姿勢を身に付けている。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1

